

2021年度
学校関係者評価報告書
(2021年4月1日～2022年3月31日)

2022年7月20日

学校法人東北文化学園大学
東北文化学園専門学校

「2021 年度自己点検・自己評価報告」に伴う学校関係者評価について

「2021 年度東北文化学園専門学校自己点検・自己評価報告」の結果に基づき、学校関係者評価委員の意見を取り纏めましたので、ここに「2021 年度学校関係者評価報告書」として公表いたします。

2021 年度報告書の作成について、コロナウイルス感染防止の観点から、昨年同様非対面による委員会開催を検討いたしましたが、コロナ禍という社会にとって（当然学校としても）異常事態であるからこそ、学校関係者評価委員間の直接的な意見交換が重要との判断から、2022 年 6 月 15 日に対面での委員会を開催いたしました。委員会開催前の 6 月上旬に、学校より「2021 年度自己点検・自己評価（案）」を全委員に事前資料として提供いただき、正式承認後に十分な議論を重ねながら、2021 年度の学校関係者評価報告書を作成いたしました。

今年度も教職員の皆様には、学生指導等多忙を極める中、学校関係者評価委員間の調整、連絡を積極的に担って頂き、例年同様この時期に、2021 年度版報告書を公表出来ましたことに厚く感謝申し上げます。

学校関係者評価委員会開催に当たり、佐藤直由校長より「コロナ禍という制限がある中でも、よりよい学校づくりを停滞させないため、忌憚のない意見を求める」旨、挨拶がありました。この 1 年間、コロナ禍においてしっかりと学生と向き合いながらも、学校改善に一丸となって取り組んできた経緯が「2021 年度自己点検・自己評価報告書」に記載されています。コロナ禍という平時ではない環境での学校改善について、今年度は昨年と同じ評定としたことの説明を受けましたが、評定 4 の評価項目についても慢心することなく常に改善を行おうとする姿勢に頭が下がる思いです。

「2021 年度自己点検・自己評価報告書」の、「基準 1」から「基準 10」全ての自己評価報告について、外部意見を真摯に受け止め、日々改善に取り組まれている結果であるとの認識から、学校が判定した評定について適切であると評価いたしました。

昨年と同じ総括になりますが、学校関係者評価委員共通の意見として、このコロナウイルス感染が 1 日も早く収束し、一人でも多くの入学者を迎え、入学定員の充足に向けた取り組みにより、再び活気ある東北文化学園専門学校となることを今年度も引き続きお願いするとともに、経営の安定こそが更なる教育の質の向上に結び付いていくものと確信しております。

文末に当たり、学生を中心軸に置いた、より良い学校づくり、更なる教育の質の向上に邁進されることを期待するとともに、私共ができることについて協力を惜しまないことをお約束させていただきます。

2022 年 7 月 20 日

東北文化学園専門学校
学校関係者評価委員会
委員長 中里 仁

1. 学校関係者評価委員会

2022年6月6日～7月13日：対面6月15日

今年度は新型コロナウイルス感染症対策の観点から、資料の事前確認を経て対面での意見交換、報告書作成に至る意見調整・集約を、各委員間または学校を通じて電話やメール等により行っています。

2. 学校関係者評価委員

【外部委員】2022年度

委員長	中里 仁	NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター理事 (社会福祉法人東北福祉会 せんだんの杜 総合施設長)
委員	栗原 憲昭	宮城県建築士事務所協会名誉会長 (盛総合設計 会長)
委員	曾根 利恵	宮城県診療情報管理研究会幹事 (仙台赤十字病院 診療情報管理課主事)
委員	郡山 知之	東北大学アイバンク理事 (株)日本眼科医療センター 代表取締役)
委員	須藤 智裕	東北文化学園専門学校同窓会 会長

オブザーバー：(自己点検及び自己評価運営委員会)

委員長	佐藤 直由	校長
副委員長	熊谷 猛	教頭
委員	二本柳 淳子	医療技術学科長
	渡辺 英隆	総合福祉学科長
	宇川 雅晴	医療ビジネス学科長
	増田 学身	建築デザイン学科長
	馬場 健二	専門学校事務部副部長

3. 評価対象期間

2021年度

2021年4月1日～2022年3月31日

4. 実施方法

- (1) 東北文化学園専門学校「自己点検および自己評価運営委員会」が作成した、「2021年度自己点検・自己評価報告書」について、コロナ感染防止対策として2022年6月上旬に同(案)を学校関係者評価委員全員に事前配布をお願いし、委員会当日までの事前把握を求めました。
- (2) 自己点検・自己評価報告書の正式承認を受けて、2022年6月15日に委員会を開催し、オブザーバー(教職員の方々)に対して状況説明等を伺いながら確認し、各委員の意見を集約、それぞれの基準について(改善方策も含め)適切であったか評価判断を行いました。
- (3) 基準1～10までの各委員の意見については、全て公開することになっています。

「2021 年度対象」 学校関係者評価報告書一覧

1. 自己点検・自己評価の項目

2021 年度は以下の基準 1～基準 10 になります。

- 基準 1 教育理念・目的・育成人材像
- 基準 2 学校運営
- 基準 3 教育活動
- 基準 4 学修成果
- 基準 5 学生支援
- 基準 6 教育環境
- 基準 7 学生の募集と受け入れ
- 基準 8 財 務
- 基準 9 法令等の遵守
- 基準 10 社会貢献・地域貢献

2. 評価項目に対する評価

基準「1～10」毎に自己点検・自己評価が適切か否かの判定を行っています。

また、判定の根拠、学校関係者評価委員個別の意見はそのまま下段に記載しています。

尚、自己点検・自己評価の小項目評価に付されている 1～4 の数字は下記のとおりです。

※4：適切 3：やや適切 2：やや不適切 1：不適切

自己点検・自己評価項目（基準 1～4 項目）

基準 1 教育理念・目的・育成人材像		
1-1	理念・目的・育成人材像	
1-1-1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	4
1-1-2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4
1-1-3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4
1-1-4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4

学校関係者評価—適切

- ・昨年度に引き続きコロナ禍での運営にご努力されていると思います。教育について、近年は業界ニーズ（時短、専門職不足等）の変化も早いので、これまで以上に情報収集と未来構想への実施に繋げて欲しいと思います。
- ・昨年の評価と大きく変わりはありませんが、御校に入学するまでの家庭環境、家庭内教育（成育歴）が異なる学生の皆さんに対し、掲げられた教育理念・目的・育成人材像の 100%達成は大いに難しいことかと推察されます。ただ、非常勤講師として学生の皆さんに接する限り、「概ね」達成されていると実感しております。

- ・数十人の御校卒業生が、当社会福祉法人の運営する各福祉領域の実践の場で実務を担って頂いております。実際の働く姿を管理者の視点で評価すれば、明るく真面目で伸びしろを秘めた素晴らしい卒業生の皆さんであると実感しております。
- ・新型コロナウイルスの流行によって医療業界は大きく変わりました。教育現場でもその時々業界の変化を反映できるカリキュラム作成の仕組みづくりを期待します。
- ・業界の最新の状況収集に力を入れる取り組みが多くあるとよいと思います。
- ・コロナ禍の中、人とのコミュニケーションがとりづらい環境にありますが、社会に出てからのコミュニケーション能力の低さを感じております。人格形成を含むコミュニケーション能力の向上を期待いたします。
- ・長期に及ぶコロナ禍の中、理念を達成するための取組みは大変かと思われませんが、教職員が一丸となって目標達成に向けて取り組まれている点は高く評価します。
- ・社会情勢が目まぐるしく変わる時代です。講師や実習先、企業との情報交換等を行える方法を早期に確立させ、アップデート教育の充実を期待します。

自己点検・自己評価項目（基準 2-7 項目）

基準 2 学校運営		
2-2	運営方針	
2-2-1	理念等に沿った運営方針を定めているか	4
2-3	事業計画	
2-3-1	理念等を達成するための事業計画を定めているか	4
2-4	運営組織	
2-4-1	設置法人は組織運営を適切に行っているか	4
2-4-2	学校運営のための組織を整備しているか	4
2-5	人事・給与制度	
2-5-1	人事・給与に関する制度を整備しているか	4
2-6	意思決定システム	
2-6-1	意思決定システムを整備しているか	4
2-7	情報システム	
2-7-1	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	4

学校関係者評価—適切

- ・運営組織や事業計画等、充分配慮されていると感じます。引き続き教職員のキャリアアップの充実を期待します。
- ・学校運営に限らず、組織運営にとって「方針」の明確化とその実行、具現化は欠かせない事項だと考え

ます。今年度もその実現に向け、御校の職員・教員の皆さんの更なる連携、理念と方針に対する共通認識の共有と強化を期待しております。

- ・コロナ禍のため、授業や実習その他さまざまな行事等の実施においては、大変ご苦労されている旨、承知しております。一方、コロナ禍であるが故に得られた逆境を乗り越えるノウハウ等、今後の学校運営やシステムに活かしていただくことを期待しております。
- ・PCを含むIT関連機器の購入には支出が伴いますが、導入による業務省力化と効率化（学生募集、授業環境の底上げ等）のメリットを活用し、更なるスムーズな学校運営が行われることを期待しております。
- ・多くの分野での情報システムの利用の推進に期待します。それに伴い、サーバー攻撃への対応などのセキュリティ対策を適切に実施できるような体制を維持していただければと思います。
- ・教職員の事務作業などの業務負担軽減の取り組みを推進していただき、より教育活動に力を入れられる環境の整備に期待します。
- ・働き方改革などを考慮しながら、教職員の質の向上と充実を期待いたします。
- ・「授業評価アンケート」や「学校満足度調査」、「入学者調査」等を行い、学校運営の改善に活かしている点は高く評価いたします。
- ・これからの社会を生き抜くためには、個の力が重要でありそれを証明できる方法の一つが資格です。今後も資格・検定試験の高い合格率を維持できるよう、教育の質の維持・向上を期待します。
- ・どこの企業においても、職員（社員）の意欲や資質の向上は課題です。昨年度も同様の課題があると記載がありましたが、研修の実施だけではなく、福利厚生なども充実することで、意欲につながると思います。

自己点検・自己評価項目（基準3-13項目）

基準3 教育活動		
3-8	目標の設定	
3-8-1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方法を定めているか	4
3-8-2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4
3-9	教育方法・評価等	
3-9-1	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4
3-9-2	教育課程について外部の意見を反映しているか	4
3-9-3	キャリア教育を実施しているか	4
3-9-4	授業評価を実施しているか	4
3-10	成績評価・単位認定等	
3-10-1	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4

3-10-2	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4
3-11	資格・免許の取得の指導体制	
3-11-1	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4
3-11-2	資格・免許取得の指導体制はあるか	4
3-12	教員・教員組織	
3-12-1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4
3-12-2	教員の資質向上への取り組みを行っているか	4
3-12-3	教員の組織体制を整備しているか	4

学校関係者評価—適切

- ・コロナ感染対策に取り組みながら教育活動をされていると思います。資格も多様化しておりますので、業界ニーズと学生個人の目標に合わせた資格取得を目指して欲しいと思います。
- ・教育目標の設定、特に教育レベル達成の明確化のさらなる充実を期待しております。
- ・国家資格・各種資格認定試験の取得向上に向けた更なる体制強化を望みます。
- ・教員の資質向上への取り組みは他校においても大きな課題となっております。有資格者＝教育者に止まらない教員養成が重要になるものと考えます。
- ・新型コロナウイルスの影響での学内実習の準備や実施に、教職員の皆様には大変なご苦労があったかと思えます。現場のニーズを把握し、様々な学内実習を準備されていたのが印象的でした。今年度以降は学外実習ができることが理想ですが、コロナ感染状況に応じて、より良い実習や体験授業ができることを期待します。
- ・専門的な資格試験の高い合格率が維持できるように、一人ひとりへの学習サポートを期待します。また、卒業生に対するサポートは素晴らしい取り組みだと思います。継続していただければと思います。
- ・教育活動は目標設定が大切と考えます。目標を明確にし、日々行動されることを期待いたします。
- ・Web を使用した公開授業や制作展の審査を行うなど、新しい取り組みをされている一方、「実習先や企業、外部委員との交流に制限があり、十分な意見や評価聴取に至っていない」という課題もあるようですが、オンラインではできないことなののでしょうか？ 企業ではオンラインによる打ち合わせも日常的に行われていますので、実習先や企業、外部委員の意見や評価はとても重要だと思いますので、課題解決を期待いたします。

自己点検・自己評価項目（基準4-3項目）

基準4 学修成果		
4-13	就職率	
4-13-1	就職率の向上が図られているか	4

4-14	資格・免許の取得率	
4-14-1	資格・免許取得率の向上が図られているか	4
4-15	卒業生の社会的評価	
4-15-1	卒業生の社会的評価を把握しているか	3

学校関係者評価—適切

- ・4-15の特記事項より、素晴らしい歴史と卒業生の活躍が推察されます。外部との連携強化を今後も期待します。
- ・就職率の向上は重要ですが、離職（勤務年数・退職理由を含む）状況を把握することも、就職先との適切なマッチングを図るうえで参考になると考えます。
- ・上記とも関連しますが、卒業生の社会的把握は重要です。何らかの方法で就職先の評価を把握できるようさらなる努力を期待します。
- ・一人ひとりに対応した就職支援に期待します。新型コロナウイルスの影響で学外実習ができなかった学生に対する就職支援等について積極的な情報収集のサポートをしていただければと思います。
- ・卒業生の情報は在校生の目標であり、将来設計に役立つ情報だと思います。卒業生へのアンケート実施などで状況把握などができる体制があってもよいと思います。
- ・専門学校の特性から資格取得が最大の目標だと思います。就職内定率などを見れば素晴らしい指導がなされていると思います。
- ・資格取得率の高さと各部署の連携による資格取得サポートは、本校の強みでもあると思います。学生募集にもつながることですので、継続して取り組んでいただきたいです。

自己点検・自己評価項目（基準5-12項目）

基準5 学生支援		
5-16	就職等進路	
5-16-1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4
5-17	中途退学への対応	
5-17-1	退学率の低減が図られているか	4
5-18	学生相談	
5-18-1	学生相談に関する体制を整備しているか	4
5-18-2	留学生に対する相談体制を整備しているか	非該当
5-19	学生生活	
5-19-1	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4
5-19-2	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4
5-19-3	学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	4

5-19-4	課外活動に対する支援体制を整備しているか	4
5-20	保護者との連携	
5-20-1	保護者との連携体制を構築しているか	4
5-21	卒業生・社会人	
5-21-1	卒業生への支援体制を整備しているか	4
5-21-2	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	3
5-21-3	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4

学校関係者評価—適切

- ・学生相談担当教員の利用率はいかがでしょうか。教員が対応することが多く、負担にならないか懸念されますが、信頼関係を築かれてのことと思います。学生相談室の利用を普及させる方法（リモート等）の改善に期待します。
- ・諸制度を活用し、あるいは御校独自の仕組みを整え経済的理由による退学者の減に努められていることは大いに評価される内容であります。山積する業務の中、教職員の皆様にとって大変な状況であることも承知しながら、今後とも学生優先（若者の夢、学びの権利を守る意味を含め）の支援にご努力されることを切に願います。
- ・教育機関のみならず、あらゆる組織で「メンタルヘルス」への対応や、その体制整備が必要な社会となっております。学内での体制整備強化（人的・環境など）と合わせ、更には「親（保護者）」との連携も必要となり教職員の負担は増すばかりとご懸念いたしますが、上記と関連し、引き続き「学生中心（学ぶ意欲のある者）」の支援とご対応をお願いいたします。
- ・就職先とのミスマッチを防ぐために、就職希望の学生さんへの企業研究や積極的な職場見学などのサポートを期待します。
- ・新型コロナウイルスの影響で、学生同士でのコミュニケーションも取りづらい状況であると思います。学生さんが楽しく学校生活ができるように感染状況に留意する必要があると思いますが、サークル活動やホームルーム等での活動ができるような環境整備に期待します。
- ・卒業後の支援や悩み相談など、しやすい環境整備が必要と考えます。
- ・ホームページやメールなど、様々な方法で進路サポートを行っている点を高く評価します。
- ・企業でも、オンラインによる会社説明会やリモート面接は当たり前になっています。専門学校にも早期に専用スペースが設置されることを期待いたします。

自己点検・自己評価項目（基準6-4項目）

基準6 教育環境	
6-22	施設・設備等

6-22-1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4
6-23	学外実習、インターンシップ等	
6-23-1	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4
6-24	防災・安全管理	
6-24-1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4
6-24-2	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4

学校関係者評価—適切

- ・防災や安全管理における施設設備改善への充実が図られていると感じました。引き続き年次計画に基づいて取り組まれますようお願いいたします。
- ・他の専門学校、短期大学等と比較しても御校の教育設備の内容は充実していると実感しております。
- ・学外実習、インターンシップ体制も年々確立強化されていると考えます。
- ・学校施設の改修については計画的に実施していただければと思います。学生募集においても新しい設備は重要な魅力となります。
- ・実習の受け入れ側として、実習前に社会人になる上での基本的な挨拶やマナー、実習に対する積極的な姿勢について指導していただければと思います。
- ・教育環境においては、常に新しい情報に触れられるようご尽力をお願いします。
- ・建物や設備も築年数が経っており、維持管理は大変かと思われませんが、学生たちが快適な環境で授業が受けられるよう期待いたします。

自己点検・自己評価項目（基準 7-6 項目）

基準 7 学生の募集と受け入れ		
7-25	学生募集活動	
7-25-1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4
7-25-2	学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	4
7-26	入学選考	
7-26-1	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4
7-26-2	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4
7-27	学納金	
7-27-1	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4
7-27-2	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取り扱いを行っているか	4

学校関係者評価—適切

- ・高校教員や高校生に向けてのガイダンスは、多々ある学校から選んでもらうために重要と思われま

コロナの影響で接触機会が少なく大変かとは思いますが、他校にはない特色を大いに PR し積極的に活動して欲しいと思います。

- ・「高校生に対する訴求力」の高いパンフレットの作成や YouTube 動画アップなど、更なる新たな PR の工夫を教員と職員が一丸となり協議検討し、バージョンアップを図る必要性を感じます。
- ・御校に対する高校生の入学基準が、教育内容・資格取得・就職率が高く学納金が安価であるという、経営側からすればハードルが高く矛盾も生じる状況ですが、その基準をいかにして満たし継続するか、上記同様、教員と職員が一丸になり達成することを期待します。
- ・少子化において学生募集は困難な状況かと思えます。専門学校を選択する高校生に魅力的に感じる SNS を活用した広報活動に期待します。また、奨学金制度の広報も積極的に行うとよいと思います。
- ・全学科一律の入学金や入学検定料設定は良い取り組みだと思います。
- ・入学選考の可視化についての取組みに期待します。
- ・入学者数の学科ごとの偏りについて、傾向を分析して今後の募集活動に繋げていくことを期待します。
- ・専門学校の特長を前面に出し、かつ学校生活の楽しさ等が伝わるとよいと思います。
- ・SNS はコンテンツの更新が適度になされており YouTube も興味を引く内容になっていると思われます。しかし、更なる工夫が必要と書いている通り、改善できる場所もあります。継続してぜひ学生募集に役立ててほしいと思います。
- ・TBG 高校生デザインコンテストの再開を検討されてはいかがでしょうか

自己点検・自己評価項目（基準 8-6 項目）

基準 8 財務		
8-28	財務基盤	
8-28-1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3
8-28-2	学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4
8-29	予算収支計画	
8-29-1	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4
8-29-2	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4
8-30	監査	
8-30-1	私立学校法及び寄付行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4
8-31	財務情報の公開	
8-31-1	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4

学校関係者評価—適切

- ・財務基盤を安定させるためにも入学者の確保が不可欠と考えます。
- ・基準7とも関連しますが、財務基盤の安定には「入学生の確保」が不可欠です。併せて教員・職員の適正配置が基本となります。中長期的な財務基盤安定のための計画を、「ここでも教員と職員が一丸となり」作成するのが重要であると考えます（現実には厳しいことですが、自分たちは単に雇用されている側。財務については考える立場ではない的な悪しき意識を教職員が持たない職場風土づくりが不可欠と考えます）。
- ・安定した財務の維持には固定経費の見直しなど不可欠要素ではありますが、何よりも「人件費率の増」が財務に大きな影響を与えます。大学、専門学校、施設を有するメリットを活かし、人事異動を含めた人件費率の抑制、キャッシュフローの検証に力を入れていただきたく考えます。
- ・専門学校だけでなく法人として学生確保に尽力していただき、財務基盤を安定できるよう期待します。
- ・財政状況などを教職員で共有し、法人全体での共通認識を持つことも重要かと思えます。
- ・中長期的に見ても学校の認知度が大切になってくると思います。今以上に周知する方法を考えてみてはいかがでしょうか。
- ・入学者の確保を全学一丸となって取り組んでいただきたいです。

自己点検・自己評価項目（基準9-7項目）

基準9 法令等の遵守		
9-32	関係法令、設置基準等の遵守	
9-32-1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4
9-33	個人情報保護	
9-33-1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4
9-34	学校評価	
9-34-1	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4
9-34-2	自己評価結果を公表しているか	4
9-34-3	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4
9-34-4	学校関係者評価を公表しているか	4
9-35	教育情報の公開	
9-35-1	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4

学校関係者評価—適切

- ・情報機器の多様化に伴い、学校側においても適切な運用や情報管理が必要となってきますので、引き続き細心の注意を払って運用して欲しいと思えます。
- ・法令等の遵守は組織運営の根幹ですので、引き続きコンプライアンスに対する方針の明確化とチェック

にご尽力ください。

- ・個人情報の保護も IT や SNS の進歩に伴い難しくなっております（ある意味イタチゴッコ的）。個人情報保護に関する情報収集やセキュリティーの強化がより必要になると懸念します。
- ・ハラスメント対策についてはどのような組織でも対策を求められています。学生に対しても相談窓口の認知度を高め、安心して気軽に相談できるような体制になることを期待します。
- ・ハラスメントや個人情報保護などの教育を学校として取り組むことで、社会人としての教養が身につくことを期待します。
- ・法令は解釈の違いにより見解が分かれることがあります。関係省庁との連絡を密にお願いいたします。
- ・引き続き、適切な学校運営に取り組んでいただきたいと思います。

自己点検・自己評価項目（基準 10-3 項目）

基準 10 社会貢献・地域貢献		
10-36	社会貢献・地域貢献	
10-36-1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
10-36-2	国際交流に取り組んでいるか	2
10-37	ボランティア活動	
10-37-1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4

学校関係者評価—適切

- ・清掃ボランティア活動などの社会貢献は、学生の社会に向けた関心や意欲向上につながると思います。絶やさず、やり方を模索しながら継続することを期待します。
- ・社会貢献・地域貢献を「文字」にすることは簡単ですが、その実現については限界があると考えます。だからこそ、現在御校で実施されている公園清掃やボランティア活動といった地道な活動を、これからも継続的に明るく実施することが有効であると考えます。
- ・文部科学省の方針としては国際交流推進なのかもしれませんが、一口に国際交流といっても多岐にわたり、交流先の教育機関や NGO においても同様で、交流の内容や相手サイド如何によっては教育上マイナスに作用することもあります。実施に当たっては、十分に上記の点に留意し時間をかけ調査検討を行ったうえ、継続的に交流又は支援のできる国際交流が実施できることを期待します。
- ・ボランティア・ポイント制度は、ボランティア活動を継続的にできる仕組みだと思います。新型コロナウイルスの影響で、多くの人が集まって活動できる機会が少ない中ですが、多くの学生が楽しく継続的にボランティア活動に取り組める情報提供や環境整備を期待します。

- ・留学生の受け入れは難しい課題だと思います。病院やクリニックでも外国人の患者さんが多く来院されるので、他校の留学生や外国人と交流することで、外国語の会話ができなくてもコミュニケーションを学ぶ機会になるかと思います。交流の場の設置に期待します。
- ・現在行われているボランティア活動や公園清掃等の継続が有効と思います。
- ・学生時代のボランティア活動などは、学校の授業では得られない貴重な経験ができますし、自己の成長にもなる良い機会ですので、学校としても参加の機会確保をお願いしたいです。